

ニュースリリース

2018年5月22日
メルク株式会社

※本ニュースリリースはドイツ・ダルムシュタット5月14日発表英文ニュースリリースの抜粋・抄訳です。

メルク、液晶ディスプレイ 50 周年を記念し 新しい液晶単品材料を「SID ディスプレイ・ウィーク」で発表

- 創業 350 周年および液晶ディスプレイ 50 周年を記念
- 先端ディスプレイの性能向上のための新しい液晶単品材料を発表
- アジアに有機 EL の製品研究所を開設

2018年5月14日、ドイツ、ダルムシュタット発 – サイエンスとテクノロジーの分野における世界有数の企業である Merck(以下メルク)は5月14日、米国カリフォルニア州のロサンゼルス・コンベンションセンターで開催される「情報ディスプレイ学会(SID)ディスプレイ・ウィーク 2018」で、「Power to the Pixel – 次世代ディスプレイ材料」をテーマに、幅広いディスプレイ・ソリューションのラインナップを展示します。この展示会にて、メルクは Licristal®のサブブランドの新製品として、高性能液晶単品材料の XtraBright™(透過率向上)、XtraBoost™(品質と信頼性向上)、XtraBrilliant™(コントラスト向上)を発表します。

メルクのディスプレイソリューションズ事業統括責任者のマイケル・ヘックマイヤーは次のように述べています。「メルクはディスプレイ産業のパートナーと緊密に協力し、次世代のディスプレイの実現に向けて、正確に目標となる物性値や品質に対応する新しい高性能のソリューション開発に継続的に取り組んでいます。50年前に最初の液晶ディスプレイ(LCD)が開発されて以来、変化の激しい市場をリードするサプライヤーとして、メルクが設計の改善、製造プロセスの効率化、光学特性の改善を可能にする革新的な材料を供給し続けてきたことを自負しております。これからも、私たちは広範な知見と専門性をいかし、ディスプレイ向けに加え、ディスプレイ分野を超えた液晶のソリューションとアプリケーションを開発していきます」

メルク創業 350 周年と液晶ディスプレイ誕生 50 周年の歴史を祝して

1668年にブリードリッヒ・ヤコブ・メルクが設立した会社は、世界最古の医薬・化学品会社「メルク」となりました。そして現在、グローバルに展開するサイエンスとテクノロジーの企業となり、350年にわたり好奇心を原動力に人類の進歩に貢献する事業を続けてきました。だからこそ、メルクは20世紀初頭より液晶の応用研究の先駆者として、ディスプレイ材料を幅広く提供しています。そして今年、世界初のLCD開発から50年となるのを記念し、メ



ニュースリリース

メルクは SID ディスプレイ・ウィークにて産学界の著名な講演者を招いて開催される記念イベントに協賛します。メルクからは、ディスプレイソリューションズ事業部開発担当シニアバイスプレジデントのマーク・ヴェラールが「The (R)evolution of Liquid Crystals (液晶の発展／革命)」と題して講演を行います。

XtraBright™、XtraBoost™、XtraBrilliant™: 革新的な液晶単品材料

現在と将来のトレンドを見据え、メルクは液晶ミクスチャー物性値改善のための大きな開発投資を行い、革新的な液晶単品材料を生み出す開発力を強化しました。透過率とコントラストの向上、品質と信頼性の強化に注力して最先端の液晶単品材料の改善を重ね、新しい高性能液晶材料「Xtra™」にて、あらゆる面で最高性能を実現しました。この最新かつ最高性能の液晶単品材料は、究極の透過率を達成した XtraBright™、優れたコントラストを持つ XtraBrilliant™、無比の信頼性を誇る XtraBoost™ の3つのカテゴリーに分かれます。メルクは、現在のディスプレイ市場のトレンドに合わせて、設計の可能性を広げディスプレイ製造における費用対効果を上げ、Licristal®サブブランドとして、液晶単品材料とミクスチャーを継続的に開発・量産化しております。メルクは、お客様との密接なパートナーシップを通し、それぞれカスタマイズされた液晶ミクスチャーに最適な組み合わせで高性能の「Xtra™」シリーズの単品材料を配合し、求められる特性を満たすことができます。

革新と高品質: 業界最大のディスプレイ材料のラインナップ

メルクはディスプレイメーカー向けに、業界でも最多の種類の高品質材料やソリューションを提供しています。メルクの製品群は今日のディスプレイ技術の発展に大きく貢献してきました。さらにメルクは高性能液晶、光学フィルム用材料、フレキシブル・ディスプレイ向け有機半導体(OTFT)、量子ドット材料、フォトレジスト、リアクティブメソゲン(UV 硬化型液晶材料)、およびディスプレイのバックライト用の高耐久 LED 製品群などで業界の未来を牽引しています。2017年、メルクは Self-Aligned Vertical Alignment (SA-VA) 液晶技術を発表しました。従来の PS-VA 液晶技術と同じく、主に高画質テレビやサイネージ用途などの大型ディスプレイや車載用途に対応しています。また、省電力の Ultra-Brightness Fringe Field Switching (UB-FFS) 技術は特にスマートフォンやタブレットに最適化した透過率と高解像度を実現しています。UB-Plus は省エネルギー化した究極の高解像度の薄型液晶テレビなどの、非モバイル用途に特化した技術です。さらに、メルクはディスプレイ領域を超えた液晶ウィンドウ技術など液晶の新しいアプリケーション開発に注力し続けます。

メルクの有機 EL 材料は、ハイエンドテレビやスマートフォンなどで鮮やかな色、あらゆる視野角からの鮮明な画像、高コントラスト、および完璧な黒表示画質などを可能にするもので、ディスプレイ業界において重要性がますます高まっています。また、薄型で、折り曲げるなど自由な変形が可能な、非常に省電力な性質をもつ有機 EL ならではのディスプレイ用途が広がっています。さらには、拡散光源として自動車のライトの設計にも変革をもたらしています。将来的には、有機 EL 技術により建物の天井や壁を情報パネルに変えることができるかもしれません。このような将来の用途を可能にするために、メルクは Livilux®ブランドのもとで高効率の有機 EL 材料を



ニュースリリース

開発し、真空蒸着方式や印刷方式向けの有機 EL 材料を提供しています。さらに、2017 年に韓国の製品研究所の生産量を 2 倍にするなど、メルクは有機 EL への投資を加速しています。また、中国で最初の有機 EL 製品研究所を 2018 年後半に開設予定です。

メルクについて

Merck(メルク)はヘルスケア、ライフサイエンス、パフォーマンスマテリアルズ分野における世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業です。がんや多発性硬化症のためのバイオ医薬品を用いた治療法から、科学研究と生産に関する最先端システム、スマートフォンや液晶テレビ向けの液晶材料にいたるまで、約 53,000 人の従業員が人々の暮らしをより良くする技術の一層の進歩を目指しています。2017 年は 66 カ国で 153 億ユーロの売上高を計上しました。

メルクは 1668 年に創業された世界で最も歴史の長い医薬・化学品会社で、創業家が今でも、上場企業が率いるグループの株式の過半数を所有しています。メルクの名称およびブランドのグローバルな権利は、メルクが保有しています。唯一の例外は米国とカナダで、両国では EMD セローノ、ミリポアシグマ、EMD パフォーマンスマテリアルズとして事業を行っています。

メルク株式会社はメルクの日本法人として 1968 年に設立され、液晶や顔料などの化学品の研究開発・製造・販売や、試薬・分析機器などバイオサイエンス基礎研究や医薬品製造、創薬にかかわるライフサイエンス関連製品・サービスを手がけてきました。2017 年 1 月より、日本国内におけるパフォーマンスマテリアルズ事業をメルクパフォーマンスマテリアルズ株式会社に集約し、液晶材料や半導体製造用材料、顔料、特殊化学品・機能性材料などの製造・輸出入・販売などを行っています。メルク株式会社およびメルクパフォーマンスマテリアルズ株式会社は、ライフサイエンスとパフォーマンスマテリアルズの両分野で高付加価値製品とソリューションを幅広く提供しています。詳細は www.merck.co.jp をご覧ください。

本件に関するお問い合わせは下記まで

メルク株式会社 広報代理: クレアブ株式会社 川口・西川(電話: 03-5404-0640)

